

## 平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	下水道部
部(局)長名	竹嶋秀人
理事名	古川 鉄人（事業推進担当）

### 【基本姿勢】

下水道は、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全など、市民の快適な生活を支え、利便性やまちの魅力を高めるために必要な都市基盤施設です。下水道事業はこれまで建設してきた施設を財産として適正に管理し、健全な事業を推進するため、経営の一層の透明化、効率化を目指してまいります。重点課題として「適切な維持管理」、「老朽化対策」、「浸水や地震などの災害対策」等に積極的に取り組み、市民生活に必要な不可欠なサービスを安定的に供給するため、事業の将来像について方向性を定めてまいります。また、市民にとって見えにくい下水道を地域の資源として積極的にPRしていく「下水道の見せる化」に取り組んでいきます。

### 【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）  
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）  
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	下水道施設等の適切な維持管理	A
2	下水道施設等の老朽化対策	A
3	浸水や地震などの災害対策	A
4	効率的・効果的な下水道経営の推進	A
5	下水道の見せる化	B

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 1	下水道施設等の適切な維持管理
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民生活に必要不可欠な下水道施設等について、予防保全型の計画的な維持管理を行います。
---------------------	--

活動目標
下水道管渠等の巡視・点検・調査を行い、状況に応じて清掃・修繕・改築を行うとともに、ストックマネジメント計画に基づき、下水道管渠の計画的な点検を行います。
下水処理場施設等の巡視・点検に基づき、予防保全型の計画的な維持管理を行います。

具体的な取組実績
下水道管渠等について、職員による路面巡視を週1回のペースで行い、異常が判明したマンホール蓋13か所を取り換えました。また、ストックマネジメント計画に基づき、管渠の点検を2,386か所実施した結果、土砂が堆積していた管渠1,282mについて清掃するとともに、異常が判明した管渠5,842mについて、平成31年度に詳細調査を行います。なお、緊急な対応が必要な取付管1か所については修繕を行いました。
維持管理業務により巡視点検時に発見された保全上必要箇所について、計画的な維持管理を行いました。 また、台風の被害を受けましたが、応急措置とその後の修繕で対応し、継続して適切な運転管理ができました。

達成目標
下水道管渠等の適切な管理に努め、安心・安全な市民生活を守ります。
下水処理場施設等の巡視・点検情報を整理し、予防保全型の維持管理を行い、適切な運転管理に努めます。

達成状況	達成度
安心・安全な市民生活の維持を目的に、下水道管渠等について巡視・点検・調査を行い、路面陥没や管閉塞を未然に防止することで、当初の目的は概ね達成できました。	A 達成
巡視・点検時の保全必要箇所について書類で報告を受け、維持管理を計画的に実施することにより突発的な故障を未然に防ぐことができました。 また、台風の被害を受けたものの、適切な運転管理を継続することができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>下水道管渠等につきましては、予防保全型の維持管理として、ストックマネジメント計画に基づき点検しました。平成31年度は、点検で異常が判明した箇所について詳細調査を実施し、必要に応じて改築、修繕していきます。また、突発的な路面陥没や管閉塞についても迅速に対応し、市民生活への影響を最小限に抑え、安心・安全な市民生活の維持に寄与しました。</p> <p>下水処理場につきましては、施設等の巡視・点検情報に基づき計画的な維持管理を実施し、緊急時にも継続して適切な運転管理ができました。引き続き事故なく安全な維持・運転管理に努めます。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 2	下水道施設等の老朽化対策
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民が安心して暮らせるよう、下水道施設等の計画的な改築更新に努めます。
---------------------	-------------------------------------

活動目標
長寿命化計画に基づき下水道管渠の改築更新を行うとともに、調査結果に基づき排水管等の改築更新を行います。
長寿命化計画に基づいた下水道施設等の改築更新を実施します。

具体的な取組実績
下水道管渠等約4,850mの改築更新工事を実施しました。
下水処理場及びポンプ場施設の改築更新工事を実施しました。

達成目標
下水道管渠等の改築更新を行うことにより、排除機能を維持します。
下水道施設等の予防保全や改築更新を行うことにより、下水道施設等の機能を維持します。設備情報を基に、長期的な改築更新計画を進めていきます。

達成状況	達成度
老朽化した下水道管渠等を改築更新した結果、機能維持を図ることができました。	A 達成
老朽化した下水道施設を改築更新した結果、機能維持とともに、高効率化・省エネ化を図ることができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>老朽化した下水道施設等の適切な機能維持を図るため、予定していた長寿命化計画による改築更新を実施し、目標は達成できました。今後は、長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、リスクマネジメントを実行し、優先順位をつけ、計画的な老朽化対策に取り組めます。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 3	浸水や地震などの災害対策
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	浸水や地震などの災害に強く、安心して安全なまちづくりに努めます。
---------------------	----------------------------------

活動目標
<p>南部地域の浸水対策として、雨水レベルアップ整備工事（中の島・片山工区）に取り組みます。</p> <p>上の川の浸水軽減策として、雨水の流入箇所を下流側に変更する対策に取り組みます。</p>
<p>今後の地震対策に向けた取組を進めます。</p>

具体的な取組実績
<p>雨水レベルアップ管の築造工事において、シールド一次覆工が完了しました。</p> <p>上の川の浸水対策として、詳細設計などを発注しました。</p>
<p>重要な下水道施設の耐震化を図る「防災対策」と、被害を想定して被害の最小化を図る「減災対策」を組み合わせ、総合的な地震対策を検討しました。</p>

達成目標
<p>雨水レベルアップ整備工事を継続して行います。</p> <p>新たな雨水管渠の設置に向け、詳細設計を行います。</p>
<p>平成30年度に下水道総合地震対策計画を策定する業務を実施し、平成31年度までに計画策定を行います。また、平成30年度までに下水道BCP（網羅版）を作成します。</p>

達成状況	達成度
<p>雨水レベルアップ整備工事では、シールド一次覆工を完了するなど、継続して工事を行いました。</p> <p>上の川浸水対策の取り組みとして、詳細設計業務、土質調査業務及び地下埋設物調査業務などを発注し、工事発注に向けた準備を進めています。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>
<p>下水道総合地震対策計画を策定し、今後5か年で優先的に耐震化を図る重要な施設を位置づけました。</p> <p>また、被災した場合でも下水道の機能を維持し、迅速に回復できるよう、下水道BCPを作成しました。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

総合評価・総括
<p>台風による大雨やゲリラ豪雨などに対応する浸水対策として、「雨水レベルアップ整備工事 中の島・片山第1工区」を継続して行い「シールド一次覆工」が完了しました。また、上の川浸水対策として、雨水管整備に必要な土質調査業務、地下埋設物調査工事及び阪急電鉄軌道内の測量業務を実施したことから、今年度の目標は達成しました。</p> <p>地震対策では、下水道総合地震対策計画や下水道BCPを策定し、重要な下水道施設の優先順位付けや、非常時対応等を明確にすることができました。今後は、下水道施設の耐震化を進めるとともに、下水道BCPに基づき訓練を実践していきます。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 4	効率的・効果的な下水道経営の推進
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	下水道経営の透明化を図り、効率的な経営を目指します。
---------------------	----------------------------

活動目標
経営戦略を策定する過程で、経営基盤の計画的な基盤強化と安定化を検討します。

具体的な取組実績
下水道事業の現状と課題を抽出し、今後必要となる、管渠や処理場施設の老朽化による更新費用や、大規模災害への対策費用等を試算するとともに、その財源となる国庫補助金や下水道使用料の将来傾向の分析を行うための検討会議を17回実施しました。検討結果を踏まえ、将来に負担が集中することなく、今後10年間に経営に必要な財源を確保し、健全な財政を維持するため「経営戦略」を策定しました。

達成目標
企業会計方式による日常経理や例月監査、決算事務等を滞りなく執行します。
今年度中に経営戦略を策定します。

達成状況	達成度
企業会計に関する研修やセミナーに参加して研さんに努めるとともに、財務会計システムを使用し、企業会計方式による日常経理や例月出納検査、決算事務等を滞りなく執行しました。	A 達成
財政収支の将来予測を立て、事業投資に必要な財源を中長期的な経営の中で適切に確保できるよう検討を進めました。その結果、健全な財政運営を維持するための今後10年間の「経営戦略」を平成31年3月に策定しました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>平成29年4月から地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用し、企業会計方式による初めての決算を行いました。建設改良等に係る取引（資本取引）とそれ以外の取引（損益取引）を区分し、財務諸表を作成したことにより、経営成績やストック情報を適正に把握することができるようになりました。</p> <p>また、老朽化対策や大規模災害への対策などの課題を踏まえ、今後10年間の投資に必要な財源を経営の中で適切に確保するため「経営戦略」を策定することで、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>これからも、下水道サービスを安定的に提供できるよう、持続可能な下水道事業を推進します。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 5	下水道の見える化
--------	----------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	下水道事業の重要性をより多くの市民に知ってもらえるよう下水道の見える化に取り組んでまいります。
---------------------	---

活動目標
下水道事業に関することの公表や積極的なPRを行います。
公共下水道台帳のインターネット公開に向け、外部配信用のシステムの構築に取り組みます。

具体的な取組実績
ホームページには、以前から公表している内水浸水シミュレーションマップに加え、今年度は広報番組で放映された「あなたの知らない下水道の世界」や「浸水から街を守る」等の動画を公表しました。また、雨水レベルアップ整備工事 中の島・片山工区で見学会を5回実施しました。 さらに、下水処理場の見学を、小学生の社会見学は2校、一般の見学は6件受け入れました。また、親子参加型の自由研究イベント等を2回実施しました。他にも神崎河畔春まつり等の機会にPRを行いました。加えて、6月には処理場のホームページを全面改訂し、わかりやすいものにしました。 新たに構築した外部配信用のシステムを部内で試験運用を実施し、機能性や操作性について意見を募集し反映することで、より機能的なシステムが完成しました。

達成目標
下水道事業に関することを市のホームページへの公表や見学会の実施等PRに取り組みます。
吹田市ホームページにおいて公共下水道台帳を公開します。

達成状況	達成度
市ホームページ・市報すいた等への公表や、イベント等での下水道事業の紹介、防災講座や見学会等、多数実施しました。下水処理場見学では、小学校の社会見学の受け入れを行いました。一般の見学とともに今後も可能な限り受け入れていきます。自主開催行事等でも直接PRする機会を持ってました。また、ホームページは親しみやすいものになりました。今後も改訂を加えていきます。	A  達成
平成31年6月頃に、市ホームページにおいて本格的に公開する予定です。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>内水浸水シミュレーションマップについて、問い合わせや防災講座の依頼もあり、市民の防災意識が高まりました。また、本年度から開始したマンホールカード配布枚数は累計約1万枚に達し、雨水レベルアップ整備工事見学会では定員80名のところ170名もの応募があるなど、市民からの反響がありました。</p> <p>下水処理場では、社会見学を含む施設見学、自主開催の行事等の機会に市民の方へ下水道事業を直接PRすることができました。次年度以降も引き続きPRする機会を作っていきたいと考えています。また、ホームページでは画像の挿入や手作りの地図等見る人の立場に立つことで、親しみやすく見せる改訂ができたと考えています。今後も適宜改訂を加えていきたいと考えています。</p> <p>さらに、下水道台帳のインターネット公開は、市民が自由にアクセスし、下水道の現状を知る手段として見える化に寄与するものです。今後はインターネット上で試験的な運用を経て、6月頃の本格的な公開を目指します。</p>